

資料提供年月日	平成26年11月13日	
問い合わせ先	課名	河川港湾課
	電話	直通 803-1434 内線 3690
	担当	課長 山内
	課名	庭園都市推進課
	電話	直通 803-1395 内線 3681
	担当	課長 亀井

広 報 連 絡

(市長定例記者会見資料)

- 1 件 名 ー集う・憩う・楽しむ水辺ー「旭川再生！」
- 2 内 容 岡山市では、「笑顔あふれる中心市街地の創出」を目指して「中心市街地活性化政策パッケージ」として取り組んでいます。
このうち回遊性向上と魅力づくりに向けた取り組みとして、旭川を中心としたにぎわいの拠点づくりについて、岡山市と国土交通省岡山河川事務所は、別紙のとおり連携して取り組めます。

一集う・憩う・楽しむ水辺―「旭川再生！」

岡山市と国土交通省は連携して 旭川を中心としたにぎわいの拠点づくり に取り組みます

岡山市では、「笑顔あふれる中心市街地の創出」を目指して「中心市街地活性化政策パッケージ」として取り組んでいます。

このうち回遊性向上と魅力づくりに向けた取り組みとして、旭川を中心としたにぎわいの拠点づくりについて、岡山市と国土交通省岡山河川事務所は以下の8つの施策について連携して取り組みます。

■ 水辺の回遊性の向上

- (1) 歩行性の悪い水際部や堤防上の回遊路について、安全に散策できるよう整備をします。
- (2) 後樂園東側の堤防上について、回遊性向上を目的とした歩行空間を整備します。
- (3) 護岸整備と合わせ水際部にアクセスするスロープを整備します。
- (4) 散策される方に対して、現在地や目的地、周遊ルートを分かりやすく表現した案内看板等を設置します。

■ 水辺の魅力を活かしたにぎわいの拠点創出

- (5) 利用しやすい空間づくりを目的とした石山公園のリニューアルを行います。
- (6) にぎわいの場の創出と安全性の向上を目的とした護岸整備を行うことで、石山公園から後樂園までの連続性を確保します。
- (7) 水辺の見えるオープンカフェの常設を目指します。
- (8) 旭川を利用したカヌー教室や遠泳、岡山さくらカーニバルや公園を活用したアートイベント等、水辺をにぎわい創出や市民活動の場として積極的に活用します。

〈お問い合わせ先〉

○岡山市 都市整備局

電話 086-803-1000 (代表)

(窓口)河川港湾課

課長 山内 章宏(内線 3690)

庭園都市推進課

課長 亀井 良幸(内線 3681)

○国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所

電話 086-223-5101 (代表)

(窓口)

副所長 川島 明昌(内線 205)

調査設計課

課長 兒子 真也(内線 351)

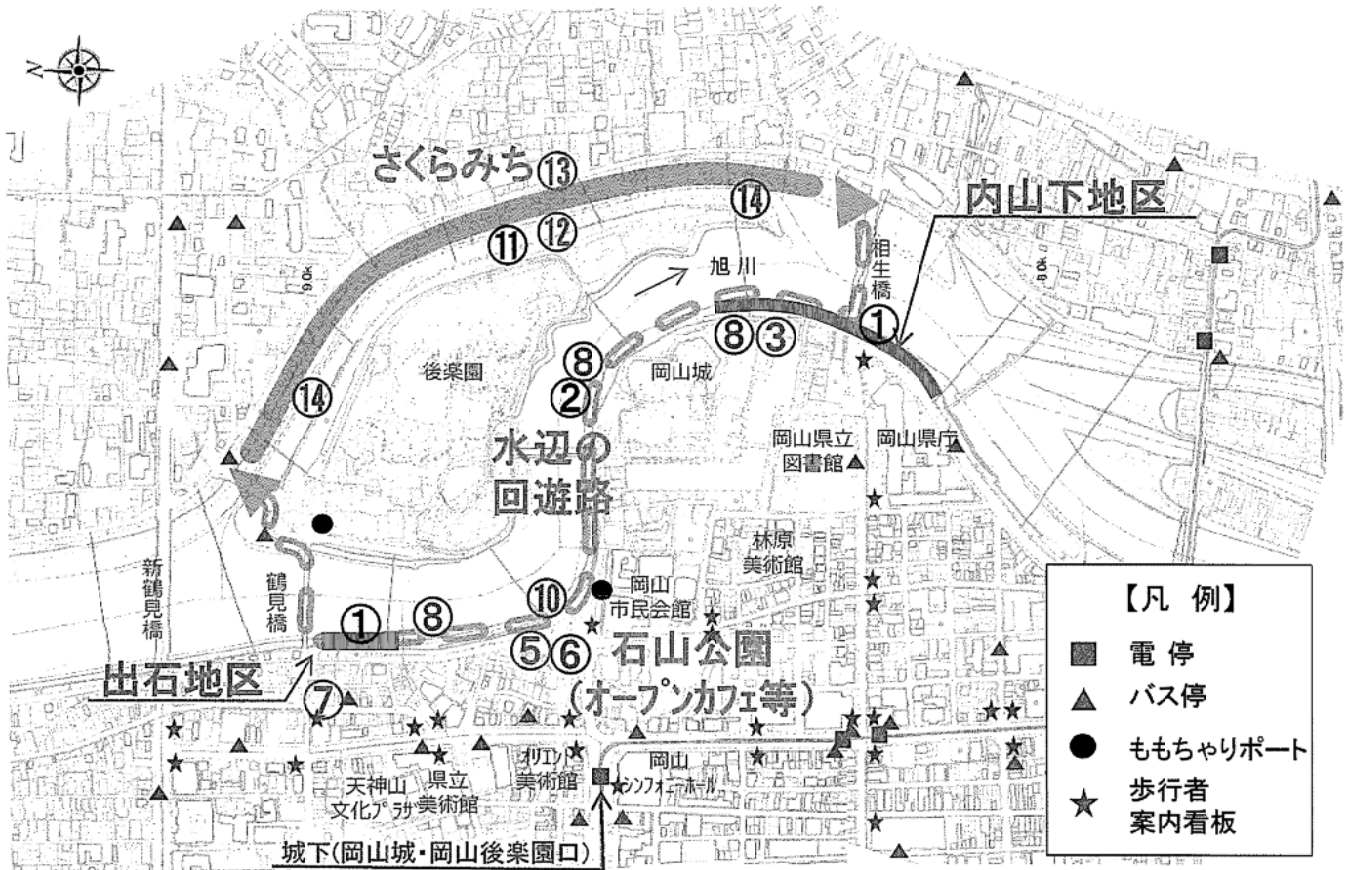


一集う・憩う・楽しむ水辺 「旭川再生！」



※ミズベリング

○旭川エリアにおける取り組み内容



右岸(旭川西側)

- ①出石、内山下地区護岸、スロープ整備
- ②水辺の回遊路整備
- ③岡山城東側遊歩道の歩行性向上
- ④旭川界隈お散歩マップ(仮称)の作成
- ⑤石山公園のリニューアル整備
- ⑥オープンカフェの実施
- ⑦ももちやりポートの設置
- ⑧案内看板等の設置
- ⑨ゴミ拾い、除草等美化活動
- ⑩河川や石山公園を活用した定期的なイベント開催

左岸(旭川東側)

- ⑪さくらみち護岸、スロープ整備
- ⑫水辺(河川敷)の遊歩道整備
- ⑬堤防上の歩道整備
- ⑭案内看板等の設置

※黒字は国土交通省取組内容、青字は岡山市取組内容、赤字は国と市の協働取組を示す。

※すべて市民協働で事業実施を予定しています。

※ミズベリング : 「水辺+リング(輪)」の造語であると同時に常に現在進行形“ING”の気持ちで、水辺とまちが一体になった美しい景観を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード
 (ミズベリング・プロジェクト : 水辺の未来を創る人が集い、市民、企業、行政が一つになって水辺の未来に向かって共に動き出すためのプロジェクト)

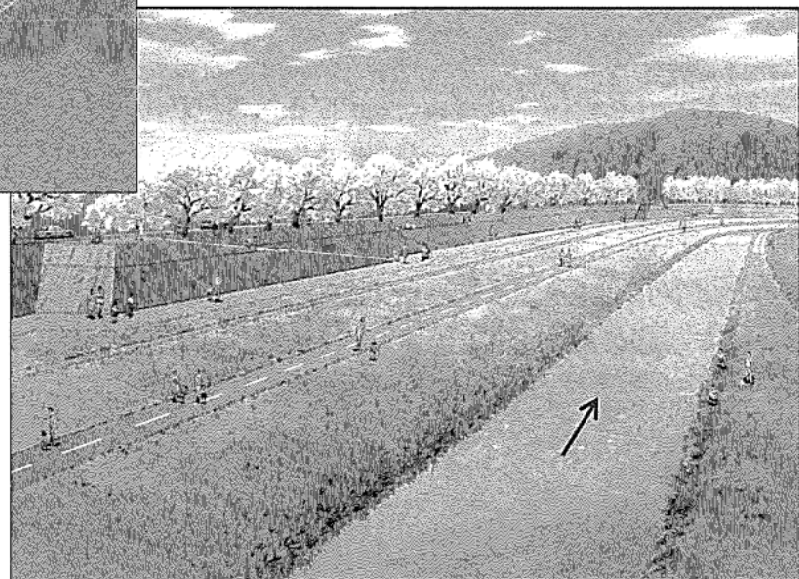
「集う・憩う・楽しむ水辺」 「旭川再生！」



○旭川周辺整備後の利用イメージ



【旭川西側整備イメージ】



【さくらみち(スロープ・遊歩道) 旭川東側整備イメージ】



○旭川・後楽園エリアにおける整備フロー

〔将来目標〕「にぎわい」の拠点づくり

後楽園・岡山城周辺における水辺の回遊性や親水性の確保、憩い・にぎわいの空間創出により、歴史・文化や河川景観・環境を都市部に居ながら身近に味わえる魅力あるエリアづくりを目指していく。

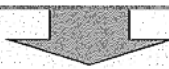
〔短期(1～2年程度)〕

エリアの回遊性を高め、様々な人が過ごしやすい河川周辺環境を整えていく。

- ・さくらみち護岸整備と合わせスロープの整備(平成26～27年度)
- ・わかりやすい案内看板等の設置(平成27～28年度)
- ・コミュニティサイクル(ももちやり)のサイクルポート設置(平成26年度)

《ソフト施策》

- ・旭川界隈お散歩マップ(仮称)の作成(平成27年度)
- ・環境維持を目的としたゴミ拾い、除草等美化活動を実施
- ・河川や石山公園を活用した定期的なイベントの開催



〔中期(概ね5年程度)〕

にぎわいの拠点づくりと、回遊性の確保。

- ・出石、内山下地区の護岸整備と合わせスロープ等の歩行空間整備
- ・歩きやすい水辺の回遊路(水際部)、遊歩道(堤防上)整備
- ・石山公園のリニューアル整備

《ソフト施策》

- ・石山公園周辺に水辺の見えるオープンカフェを常設

(参考資料) 旭川における課題と対応策

【旭川における課題】

- 治水) 中心市街地の治水安全度が低い
- 利用) 市街地から近いが利用者は少ない
水辺のアクセスが不便
- 景観) 後楽園・岡山城周辺の景観への配慮と保全

キーワード【後楽園と岡山城をつなぐ旭川】

- ・「回遊性(リング)」
まちとかわの連続性を確保
- ・「親水性(リンク)」
水辺のもつうるおい、やすらぎを再認識
- ・「拠点性」
目的地としての旭川周辺の魅力再生(リノベ)

歴史・文化
を活かし、
景観を重視

【対応策・解決策】

- ・まちづくりと連携した治水事業の実施
- ・スロープ等の設置(アクセスの向上)
- ・水際部、堤防上における回遊路整備による連続性の確保
(回遊性の向上)
- ・にぎわいの空間創出
- ・石積みによる護岸整備(景観配慮・文化財保全)